

## 海老名災害ボランティアネットワーク 平成30年度 第7回(11月)定例会、議事録

開催日時：2018年11月1日(木) 19時～21時、会場：海老名市総合福祉会館、第3音楽室  
(出席) 大野、小澤、中村、佐々木、野中、野本、福田、星野、松井、水本、吉野、山下、舘、計13

### (1) 各担当より報告

① 一般会計(松井)：一般会計 2018年10月末日の残金 216,734円  
(会費納入者) 個人会員 23名、賛助会員 12名 団体会員 3団体

② 特別会計：災害救援活動費の報告

第17回定期総会(2018年4月14日) 前年度よりの繰越金 58,000円

「平成30年7月豪雨災害」(通称：平成30年西日本豪雨災害)「被災地支援活動費補助金」

期間：8月2日より11月1日まで、「個人負担の軽減措置として1件当たり4,000円

この期間の該当件数4件 4000円×4件=16,000円

●11月1日の定例会で、「平成30年7月豪雨災害被災地支援活動費補助金」を中止した。

特別会計へ寄付金：永山八郎さん(会員)より、2018年9月に 20,000円

特別会計の残高(2018年11月1日現在) 62,000円

### (2) 活動報告(8月定例会以降～9月定例会まで)

① 10月6日(土) 赤い羽根街頭募金、主催：海老名社協(ボラ連参加団体)

場所：海老名駅西口自由通路で、赤十字の募金に協力した。出席：福田

② 10月12日(金) 13時～15時、ボラ連定例会、出席：福田、水本

内容：12月9日(日)「ふれあい交流会」、ボラ連加盟の各団体からの出席者数2名を要請される  
2019年2月5日(火) 10時～12時、講演「救急法の基礎」日赤神奈川支社を決定

③ 10月23日(火) 18時～第2回神奈川災ボラ運営委員会：出席：福田

会場：県民サポートセンター、西日本豪雨災害被災地支援ボラバス報告会(11月17日)など  
(別紙：「神奈川災ボラ第2回運営委員会議事録(案)」を参照、添付ファイル)

④ 10月25日(木) 13時～海老名防災関係3者定例会、会場：海老名市社協、出席：福田、水本

テーマ：ビックレスキューかながわの振り返り⇒マニュアル見直し⇒19年2月の養成講座で実施  
(2018年10月の海老名防災関係3者定例会のまとめ)を参照、添付ファイル)

### (3) 今後の予定及び事業内容の検討

① 11月4日(日) 10時～12時、東柏ヶ谷1・2丁目自治会の防災訓練(講話中心)の支援

会場：柏ヶ谷コミセン、【展示と説明】食糧と水の備蓄、災害時トイレの活用、出席予定：水本、三宅

② 11月9日(金) 13時～14時、海老名市ボラ連定例会、会場：福祉会館、出席予定：水本、福田

ボラ連加盟団体からの11月24日体験型講座の出席予定者の名簿をもらう予定。

③ 11月10日(土) 11時～12時、上今泉コミセン祭り実行委員会：出席予定：福田、松井

会場：上今泉コミュニティセンター1階、当日(12月2日)に向けた打ち合わせ

④ 11月17日(土) 17時～20時、神奈川災ボラ主催、西日本豪雨災害ボラバス報告交流会

会場：神奈川県民サポートセンター11階講義室、定員：先着40名、無料

申込：[メール ksvn2018okayama@gmail.com](mailto:ksvn2018okayama@gmail.com) FAX045・324・1120

●西日本豪雨災害被災地支援ボラバス終了⇒海老名災ボラの個人負担軽減措置(4千円)を終了

- ⑤ 11月18日(日)9時集合～14時頃、サンパルク650自治会主催、自主防災訓練の支援  
【体験型訓練】食糧備蓄と災害食体験、水運び体験、災害時トイレの活用体験、家具類の固定方法とガラス飛散防止対策、通電火災防止対策(感震ブレーカー)と停電時の灯りの確保、サンパルク管理棟  
●当日の指導員はサンパルク自治会役員を主役として、災ボラ会員は補佐する形とする。  
災ボラの出席予定者:11月18日(日)、福田、(募集中2名)  
●自治会役員の予備講習会の開催:11月17日(土)19時～21時、管理棟、出席:福田、(募集)
- ⑥ 11月19日(月)9時～15時、「ネットワークだより」33号の印刷、配送準備作業  
会場:総合福祉会館受付前で印刷(5,500枚)、⇒自治会単位に袋詰め(視聴覚室)  
出席予定:福田、小澤、中村、野本、水本、(募集中2名)
- ⑦ 11月24日(土)体験型講座:減災対応訓練(一般参加者)10時～12時  
【主催】海老名災ボラ、【後援】海老名市社協、海老名市(危機管理課)  
【会場】海老名市総合福祉会館、第1～第3娯楽室(1階)、災ボラ会員は9時集合  
【体験課題】1シェイクアウト訓練、2食料と水の備蓄と災害食体験、3災害時のトイレ活用体験(三角テントを設営、それを活用して実施)、4家具類の固定方法とガラス飛散防止対策、5通電火災防止対策(感震ブレーカー)と停電時の灯りの確保(懐中電灯、LEDランタンなど)  
災害食を全員で食べる⇒全員で「振り返り」(感想を聴く)⇒終了  
【出席予定】;福田、小澤、中村、野中、野本、松井、三宅、水本、(募集中2名)  
●課題担当者の確定:災ボラ会員の出席予定者でそれぞれの体験課題の担当者を決める。  
●一般市民参加者の増加対策(災ボラ会員からの口コミをよろしくお願いします。)
- ⑧ 11月25日(日)9時～13時、第9回「海老名農業まつり」へ出店、防災・減災のPR活動  
会場:海老名グリーンセンター、テント1つ(昨年の「JA共催」のテントと交替した)  
【展示と実演】水と食糧の備蓄、災害時トイレの活用体験  
【出席予定】福田、松井、(募集中2名)
- ⑨ 11月28日(水)14時～15時、海老名防災関係3者定例会  
会場:海老名市社協事務室(市役所内)、【出席予定】;福田、水本、佐々木  
【議題】「ビックレスキューかながわ」訓練のまとめ⇒マニュアルの見直し
- ⑩ 12月2日(日)9時半～15時、上今泉コミセン祭りへ出店、防災・減災のPR活動  
【会場】上今泉コミセンの自転車駐輪場(屋根付き)で、テーブル2個、椅子6脚  
【展示と説明】水と食糧の備蓄、災害時トイレの使い方、通電火災防止(感震ブレーカー)  
【出席予定】:福田、松井、(募集中2名)
- ⑪ 12月2日(日)10時～12時、海老名コーポラスの自主防災訓練へ参加、防災・減災のPR活動  
【内容】災害時トイレの使い方、【出席予定】中村、三宅、野中、(募集中1名)

⑫ 12月8日(土) 10時～12時、災害図上訓練(DIG)防災マップ作り、一般参加者

【主催】海老名災ボラ、【後援】海老名市社協、【会場】総合福祉会館第1～第2会議室(2階)

講師：中村敏一、【参加費】無料 【定員】先着順30名

●海老名災ボラ会員も、市民と同じようにメールまたはFAXで、名、住所、連絡先、メールアドレスを記載し、申し込むこと。(12月8日の防災マップづくりのチラシを参照、添付ファイル)

メールアドレス [edvn-info@ebina-saibora.net](mailto:edvn-info@ebina-saibora.net) をお願いします。

FAX 046-233-4529 (福田の電話とFAX番号) でも結構です。

⑬ 12月9日(日) 11時～13時30分、ふれあい交流会、会場：オークラ・フロンティアホテル

障害者を中心としたイベント、ボラ連参加団体は各1名の出席：海老名災ボラ：水本、福田  
海老名社協+障害者団体+ボラ連からの寄付金+民間企業からの協賛、参加する個人の会費(2千円)  
ホテルでの昼食(2000円相当?)、ボラ連の参加者は、会場の設営、各テーブルでの世話役のような役割を果たしながら、各テーブルで障害者と交流し、パーティーを盛り上げる。

●参加する障害者とその家族は1人2000円の費用を払っている。

●ボラ連加盟団体の出席者の個人負担金の取扱い

A: 全てを団体が出しているところ(個人負担金なし)もある。

B: 半額程度(1000円前後)をその団体が負担しているところもある

C: 全て個人負担(2000円)としているところもある

海老名災ボラはどうするか?時間がないので、12月の定例会で決める。

⑭ 2019年2月17日、24日災害救援ボランティアセンターコーディネーター養成講座

【日時】平成31年2月17日(日)、24日(日)、10時～15時30分

【主催】海老名市社会福祉協議会(社協がボラセンの中軸となることを明確にする)

海老名災害ボランティアネットワーク(社協を支援)、【後援】海老名市(危機管理課)

【定員】先着30名(両日参加できる方)

社協は福祉団体(ボラ連)や青年会議所などの参加者を勧誘する予定。

【対象】海老名市在住・在勤・在学の方で、両日とも参加できる方

【参加費】無料(筆記用具及び昼食は各自用意してください)

【参加申込】社協のメール、社協のFax

【申込期間】2019年1月4日～2月8日(金)まで

【講座の概要】

第1日目 2019年2月17日(日) 10時～15時30分(主に座学)

災害時における海老名市の対応、災害時における社会福祉協議会の役割、

海老名災害ボランティアネットワークの活動(災害時及び日常活動)

災害救援ボランティアセンターの運営の実際(東日本大震災以降の状況を踏まえて)

第2日目 2019年2月24日(日) 10時～15時30分、

海老名災害救援ボランティアセンター運営マニュアルの説明

海老名災害救援ボランティアセンターの設置運営訓練(立ち上げ訓練)

立ち上げ訓練及び振り返り

#### (4) その他

##### ① 「海老名災害ボランティアネットワークだより」の編集方針について

- 自治会回覧は、年2回で、期日は2019年12月1日、19年6月1日、に変更した。
- 自治会回覧の目的は、「できるだけ多く」の海老名市民に「防災・減災」への関心を持ってもらう。
- 自治会回覧では、防災・減災に関わる情報提供を主としている。
  - ・「じっくりと読む」というよりは、「さっと見て」隣へ回す人が多いのでは？
  - ・市民の関心は多様で、関心のある情報であれば、じっくり読む人もいるだろう。
  - ・見出しが重要、写真などを活用する、文字を大きくして文章は少な目にする。。
  - ・災ボラの「今後の事業」をPRする ⇒ 災ボラの活動を紹介する ⇒ 会員増加につなげる

##### ② 「海老名災ボラ会員名簿」の作成、アンケートの実施（12月中旬～翌年1月）

- ・会員アンケートを実施して、名簿にまとめる。
  - ・プライバシー問題があるので、名簿は、会員に限定して開示する。
  - ・名簿掲載の範囲は各人の自由判断に任せる。
    - （氏名、住所のみ、電話連絡先、メールアドレス、生年月日など）
- 12月の定例会で議論する。アンケート調査は12月～1月に実施する。

次回：12月6日（木）19時～21時、総合福祉会館、第3 娯楽室（1階）

次々回：1月10日（木）19時～21時、総合福祉会館、（予定）